

より良いまちづくりについて話し合う

# 市長を囲む地域懇談会 を開催しました



より良いまちづくりについて市民と行政が一体となり話し合う「市長を囲む地域懇談会」を10月21日から11月15日にかけて、市内7地区で開催しました。

懇談会には延べ約350人の参加があり、参加者からは道路の安全確保や環境問題、福祉の充実など生活に身近な問題をはじめ市政全般にわたり、さまざまな意見や提案が出されました。主なものを抜粋して紹介します。

## ゾーン30

ゾーン30の現況を教えてください。

「ゾーン30」は、歩行者の安全確保を目的とし、区域を決めて時速30キロの速度規制を実施するもので、地域や警察などと相談しエリアを決めている。道路のカラー化などを検討しており、今年度には着手する予定で、場所は第三小学校近くを考慮しており、市内初の試みとなる。

## 空き家対策

空き家が多くなっているが、空き家対策について教えてください。

空き家問題は全国的なもので、国も対策に乗り出している。個人所有なので簡単に手を出せないのが現状だが、他市の事例を参考にしていきたい。

## 防災無線

防災無線のデジタル化の進捗状況について教えてください。

現在、準備を進めており、新しい戸別受信機を各家庭に配布する予定。

## 溶岩ドーム対策

溶岩ドームが崩壊したら、どこまで来るかシミュレーションしているの

か。また、土石流対策について教えてください。

平成新山の山頂には、堆積物が1億7000万立法メートルあり、その上に1億立法メートルの溶岩ドームがある。溶岩ドームの崩壊も視野に入れた対策を国土交通省などへ要望している。今後も引き続き、国・県などに働きかけ、防災対策に努めていきたい。

## いじめ・体罰

長崎県はいじめ・体罰が多いと報道があっているが、どのように考えているのか。

県が体罰防止のガイドラインを作成し、いじめ防止対策推進法が6月に公布されている。このことを受け、校長を通じて指導を行っている。また、いじめ防止条例については他市の事例を研究していきたい。

## 婦人会

どこの地区も婦人会の会員が減少している。行政からの動員が多く負担となっていることも要因の一つかもしれない。行政からも、ぜひ有明・杉谷地区の婦人会復活と会員の増加に協力してほしい。

一部の地区の婦人会が無くなったことは市としても重要な問題と考え

ている。こうした状態が続くと、無  
いことが当たり前となってしまつ  
で、早いうちに取り組んでいき  
たい。

## 耳マーク

聴覚障がい者のために、市役所に「  
耳マーク」を設置してもらっているが、  
筆談するための道具がない。各窓口  
の耳マークの下に筆談ボードを置い  
てほしい。

今後、置く方向で検討したい。  
(12月から各部署に設置していま  
すのでご利用ください)

## 観光バス駐車場

島原文化会館の大型バス駐車場に昼  
間、普通車が止まっており、観光客  
を乗せたバスが駐車できないことが  
ある。

分かりやすい看板を設置するなど  
検討したい。

## 有明公民館駐車場

有明公民館裏の駐車場の認知度が低  
く、あまり活用されていない。もっ  
と周知が必要では。

島原地区の人にはあまり知られて  
いないため、案内看板や第1駐車場・  
第2駐車場などといった分かりやす  
い看板の設置を検討したい。

## 精霊流し

作り手の高齢化が進んでいる。後継  
者育成のため、教室や講習会の開催  
が必要。精霊船を製作する技術を一  
人でも多くの人に持ってもらうた方  
がよい。

技術が失われぬような取り組み  
が必要だと認識している。今後、関  
係者などを交え、検討していきたい。

## イノシシ対策

イノシシをよく見かける。最近はず  
宅地でも見かけるようになった。イ  
ノシシ対策はどうなっているのか。  
10月末までに約450頭捕獲して  
いる。関係機関と連携し、さらなる  
捕獲に努めたい。

## 河川からの悪臭

大雨が降った際、西川からニオイが  
したり、泡が発生していた。  
他の川でも相談があつているので、  
原因を究明したい。

## 新庁舎建設

新庁舎建設の際、有明庁舎を有効活  
用すると聞いたが、どのような活用  
方法を考えているのか。

1市1町での合併によるメリット

を最大限に生かしたい。有明地区は  
県内有数の農業地帯でもあり、農業  
は島原・有明の基幹産業である。有  
明庁舎を十分に活用し、さらなる農  
林水産業の発展に努めたい。

## 市職員提案制度

現行の職員提案制度を見直し、活発  
な意見提案がしやすい環境づくりを  
目指すとあつたが、現在の提案制度  
の状況を教えてほしい。若手や女子  
職員でチームを作ってやってみると  
いいかもしれない。

現行の制度では、立派なものを提  
案しなければならぬという雰囲気  
があり、年間数件程度。若い人を中  
心に、日ごろ思ったことをどどん  
出せるような環境づくりに取り組み  
たい。

## 長崎がんばらんば国体

市内の観光施設に全国から多くの  
人が訪れる。市民だけでなく、観光客  
にも国体開催をPRしてほしい。

観光客にも国体開催  
をPRしていきたい。  
どのような形でPRで  
きるか、施設関係者な  
どと協議したい。



## 「皆さんの声」を まちづくりに生かします

市長を囲む地域懇談会で皆さんから出された意見・  
要望などは市議会や関係機関などと連  
携し、より良いまちづくりに反映させ  
ていきます。

また、道路など生活に密着した意見・  
相談などは、随時受け付けていますの  
で、担当課へその都度ご相談ください。

